

## 熊本県州立モンタナ大学高校生派遣事業（担当課：義務教育課英語教育推進室）

グローバル人材の育成を目指し、夏季休業中に州立モンタナ大学高校生派遣事業を実施していましたが、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、代替事業として、オンラインによる州立モンタナ大学の講義を実施したところ、31名の高校生が参加しました。アンケートでは、90%以上の生徒たちが、この研修を受けて海外留学したいと思うようになったと回答しています。

### オンライン研修の内容 5日間のプログラム（8月1日～5日）

<b>Sustainable Development Goals</b>	「私が取り組む持続可能な開発目標(SDGs)」:モンタナ州で実施しているSDGsについて学び、熊本県で実施可能なSDGsについて提案する。
<b>Presentation Skills</b>	「プレゼンテーション技術」:聴衆に伝わるプレゼンテーションの技術を学び、研修最終日及び事後研修で自信を持ってプレゼンテーションができる力を身に付ける。
<b>Cultural Engagement</b>	「異文化交流」:州立モンタナ大学の学生や地域住民と、電子メールやZoomを活用し、小グループに分かれて英語でディスカッションを行う。

### 事後研修「SDGsプレゼンテーションコンテスト」

日時:令和4年(2022年)8月27日(土) 場所:職員研修室(県庁新館2階)

内容:・モンタナ派遣経験者の講話「モンタナ派遣後の7年間とこれから」九州大学共創学部 4年 米村 萌  
・英語プレゼンテーションコンテスト“Kumamoto SDGs Presentations”  
・修了証明書授与

審査員:モンタナ州政府駐日代表事務所 代表 坂口 マコ  
高校教育課 指導主事 松田 圭志  
義務教育課 外国語指導助手 Hueseng Xiong

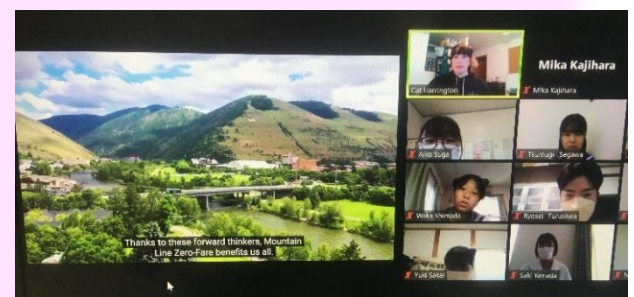
入賞者:1位 米田 彩乃(八代高等学校 1年) SDGs#10 Reduced Inequalities  
2位 太田 琴乃(済々黌高等学校 1年) SDGs#1 No Poverty  
3位 佐野 芹華(熊本商業高等学校 3年) SDGs#14 Life Below Water



発表中の米田彩乃さん

### 助成対象者の声

- SDGsについて“英語で”学ぶことができ、貴重な経験をした。その経験を活かして、これから周りの人に少しずつ伝えていく。
- 人前で英語を話すことがとても苦手だったが、レベルの高い授業と宿題をこなしていくうちに、自分でどんどん発言、質問していかないとおいていかれることがわかったので、積極的に発言していった。その結果、英語のスピーキング能力が大きく伸びたと思う。また、事後研修の英語プレゼンテーションの準備をしているときに、自分が納得いくところまで仕上げることを頑張ったおかげで、英語で話すときの技術(プレゼン能力、話の構成、わかりやすい伝え方等)を身につけることができたと思う。このプログラムが終わった後、英会話の先生に、急に英語力が伸びたといわれてうれしかったので、頑張ってたかったと思う。



報告書QRコード→

熊本県州立モンタナ大学高校生派遣事業に参加した生徒の感想などをまとめた事業報告書を県英語教育推進室のホームページ (/site/eepro/163147.html) に掲載しています。

